

スプリングバックを解析

鈴木工業、実証開始

プレス加工 製造コスト低減



3次元測定機などを使い金型と板両方の形状を同時に解析する

【前橋】鈴木工業(群馬県太田市、鈴木恒太社長、0276・333・9533)は、金属のプレス加工で材料が変形するスプリングバックを高精度に解析するための実証実験に乗り出した。非接触型の3次元測定機とシミュレーション技術を使ってスプリングバックの量を把握し、金型の設計データとして反映させる。従来のようなプレス加工後の修正作業を省き、製造コストの低減を図る。年内にも実用化する。

高砂熱学工業は米アップルの腕時計型端末「アップルウォッチ」を利用した安全対策のアプリケーション「アップルウォッチ」(応用ソフト)を開発した。作業対象を指し示しながら、状況を音に出して確認する「指差呼称II写真」の動作を感知して回数を集計する。管理者が作業員の指差呼称の実施度合いを確認できる。早ければ2018年度にも、東京本店内の



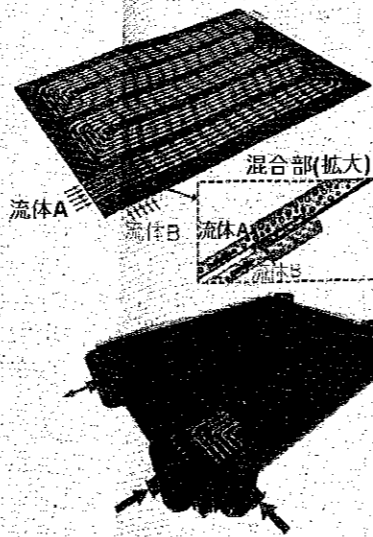
高砂熱学が開発する「指差呼称II写真」による安全対策のアプリケーション

【前橋】鈴木工業(群馬県太田市、鈴木恒太社長、0276・333・9533)は、金属のプレス加工で材料が変形するスプリングバックを高精度に解析するための実証実験に乗り出した。非接触型の3次元測定機とシミュレーション技術を使ってスプリングバックの量を把握し、金型の設計データとして反映させる。従来のようなプレス加工後の修正作業を省き、製造コストの低減を図る。年内にも実用化する。

実証実験に關しては、群馬県立群馬産業技術センター(前橋市)と協力して実施する。非接触型の3次元測定機とプレス成形シミュレーション技術を活用し、金型と板の両方の形状を同時に解析し、製造コストの大幅な低減につながる。鈴木工業は今後も継続的に実証実験を行う考え。こうした取り組みを通じて把握した情報を数値化し、金属プレス加工の一層の効率化を目指す。

神鋼EN&M 化学品向けに提案 金属の分離回収装置

【神戸】神鋼エンジニアリング&メンテナンクス(神鋼EN&M、神戸市灘区、佐藤孝彦社長、078・803・2901)は、溶液を、化学品メーカーに回収する「マイク」の提案をする。細い管路内で異なる原料の分子を効率的に接触・反応させて、高分子化合物などを生成できる。処理路の中で効率良く2種類の液体を接触・反応させる(イメージ)



【神戸】神鋼エンジニアリング&メンテナンクス(神鋼EN&M、神戸市灘区、佐藤孝彦社長、078・803・2901)は、溶液を、化学品メーカーに回収する「マイク」の提案をする。細い管路内で異なる原料の分子を効率的に接触・反応させて、高分子化合物などを生成できる。処理路の中で効率良く2種類の液体を接触・反応させる(イメージ)

細い管路に金属分子を含む溶液と油剤を注入して反応させ、金属と液体を分離する。従来の攪拌式抽出装置に比べ、効率が高く、使用後のリチウムイオン電池からリチウムやニッケルなどの金属を回収することも可能。希少金属回収業者向けに納入実績がある。

11月中に実証用装置1台を神戸製鋼所の神戸総合技術研究所(神戸市西区)に設置。顧客の実証実験用に装置を開放し、販売につなげる。同装置は神戸製鋼所と神鋼EN&Mが共同開発した。金属回収用金品回収業者向けに納入実績がある。

三建設備工業(東京都中央区、松井栄一社長、03・6280・2561)は、1次工場のエネルギー消費量を実質的に削減する「ネット・ゼロ」を実現する「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)」のモデル工場を完成させた。19日に営業を始めた。地上2階建てで延べ床面積は約1949平方メートル。同工場はエネルギー消費量が削減され、CO2排出量がゼロになる。同工場はエネルギー消費量が削減され、CO2排出量がゼロになる。

リードタイムを短縮

岸本工業 NCCフライス盤導入

岸本工業(東京都大田区、岸本哲三社長、03・5703・8171)は、曲線の加工ができる牧野フライス盤を導入した。投資額は1500万円。段取り工があるような場合、従来の手間を減らすなど、加工工程を少なくすることで従来比で15~20%の加工時間短縮につながった。今導入した「KE55II写真」は、プログラミング不要で簡単な設定で円弧などを加工できる高精度の加工機。図面から材料の切り出し、切削など一連

の作業を一人でも対応可能にする。設備導入と併せて生産プロセスの改善を目指す。

東洋パレル技研は、電動工具に取り付ける「木工用33」(消費税率10%)の3種合計で500円の3種合計で年間10万枚の販売を目指す。木工用は刃渡り33mm、

電動工具に取り付け

岡田金属がのこぎり刃

【神戸】岡田金属工業(兵庫県三木市、岡田保社長、0794・833・1111)は、電動工具に取り付ける「木工用33」(消費税率10%)の3種合計で500円の3種合計で年間10万枚の販売を目指す。木工用は刃渡り33mm、

65mmの2種類があり、天井板、床材などの切込切断に適している。際切用は通常面側に開いている刃先をフラット形状にし、板厚に収まるようにした。材料に押し当てても傷が付かず、壁や床の際取りのこぎりが入らな

ちよつと訪問

東洋パレル技研は社名の通り、金属や樹脂部品に表面処理を施すパレル研磨が事業の中心だ。研磨後はバリ取りから酸化被膜除去、光沢仕上げなども手がける。「需要があれば受注対応する」と別所社長が強調するように、産業機械から自動車、精密制御機器など幅広い分野向けに部品加工を請け負う。

7年後売上高倍増狙う

アルミニウムや鉄、ステンレスといった素材のパレル研磨に伴う設備で、回転する別所社長は「7年後を目標に、売上高は現状比ほぼ倍増の2億円到達を狙う」と力を込める。



別所社長

▽所在地 大阪市平野区加美東4の5の11、06・6792・9522
▽資本金 11000万円
▽売上高 1億1000万円(17年12月期)
▽従業員 10人
設立 77年(昭52) 10月

寿命3割伸

電菱が密閉型

電菱(東京都品川区、陽山小伸社長、03・3802・3671)は、充放電の耐久性に優れた産業用密閉型鉛蓄電池の新シリーズ「JL100-12」写真」を発売した。価格は7万2000円(消費税別)。独立型主

